

事務事業名	屋外広告物法関係許認可事務				担当	建設部 都市計画課 計画係		
政策名	A	暮らしやすさが実感できるまちづくり			増補版施策名			
施策名	2	良好な市街地の形成			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	屋外広告物法、栃木県屋外広告物条例					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成21年度～）		
予算科目	1. 一般会計	8. 土木費	4. 都市計画費	1. 都市計画総務費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	屋外広告物については、良好な景観形成や風致の維持のため、表示場所や方法及び管理などについて「栃木県屋外広告物条例」に基づき規制することを目的としている。平成21年4月より「栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例」に基づき屋外広告物法令に関する事務が市に権限委譲されたため、その事務を行う。新規の申請は常時受付し、更新は3年に1度となる。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 30年度実績 「栃木県屋外広告物条例」に基づく許可事務 31年度計画 H30年度と同様とする。	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移 名称 単位 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(見込) ア 新規許可 件 40 33 31 40 30 イ 更新許可 件 85 71 93 89 100 ウ 変更許可 件 0 0 0 0 0 エ その他届出（管理者等設置届出） 件 27 40 40 51 40 オ 除却届出 件 24 10 23 23 20
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 屋外広告物	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移 名称 単位 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(見込) ア 許可広告物数 基 1501 457 509 1,222 500 イ ウ エ オ
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 県条例に基づき規制することで、良好な景観や風致を維持する。	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移 名称 単位 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(見込) ア 許可・届出件数 件 152 144 164 180 150 イ 除却届出 件 24 10 23 23 20 ウ エ オ
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 住環境水準の向上や良好な街並みの形成を図る。	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移 名称 単位 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(見込) ア 地域の景観が良いと感じる市民の割合 % 79.7 81.2 84.5 81.2 85.0 イ ウ エ オ

(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
投入量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	165	165	164	164	164
		事業費計(A)	千円	165	165	164	164	164
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	850	850	850	850	850
		人件費計(B)	千円	3,562	3,530	3,528	3,544	3,544
		トータルコスト(A)+(B)	千円	3,727	3,695	3,692	3,708	3,708

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成21年4月より「栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例」に基づき屋外広告物法令に関する事務が市に権限委譲されたため、その事務を行うこととなった。
② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成22年9月より市内企業のグループが、屋外広告物ボランティアとして、市内を定期的に見回り活動をしている。
③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	